

進捗状況の概要（1ページ以内）

本補助事業の全体の目的は、「地域産業人材」を養成するための教育プログラムの構築・展開を通じて、若者の地元定着と地域の活性化を図ることである。その目的達成のための令和2年度の主要な目標は次年度からの教育プログラム開講に向けた準備であり、その目的は以下に掲げるとおり達成されたと考える。

- ・教育プログラム全体を企画し、実行するための実施体制を整備した。具体的には「吉備の杜」創造戦略プロジェクト推進本部会議、「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ、「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会(部会含む)の設置である。これにより、学生にとって魅力的かつ良質な教育プログラムを提供する体制を整えた。
- ・魅力的かつ良質な教育プログラムを構築するために、各学部・研究科にWGを設置するとともに、「吉備の杜」創造戦略プロジェクト教育プログラム開発委員会(部会含む)等を設置し、企業や自治体との協議や教員間の意見交換を行った。
- ・次年度の教育プログラム開講に向けて、学生および社会人への説明を行った。これにより、受講対象者の本プログラムに関する理解を深めることができた。
- ・外部評価委員や創造戦略アドバイザーからのアドバイスにより、学生にとって、より魅力的かつ良質な教育プログラムにすることができた。

令和3年度の目標は、教育プログラムを開講し、かつ、円滑に運営することである。9月30日時点の状況を以下に述べる。

- ・森と建築と匠を温め羅ねる杜、地域のICT技術を温め羅ねる杜及び食と栄養と健康を温め羅ねる杜の3プログラムが予定どおり開講されており、受講者数は目標を上回った。
- ・学外者履修要綱を制定して学外者履修についてのルールを明確化することにより、48名の学外者の受け入れを達成した。
- ・教育プログラムの目玉の一つであるPBL演習の受け入れ先について、事業協働機関だけでは賅えないため、新たに協力企業(団体)の発掘に尽力した結果、希望者全員の演習受入が実現した。
- ・学外(社会人)履修者対応や新型コロナウイルス感染症対策のため、ビデオオンデマンド履修の仕組みを新たに構築した結果、より柔軟な履修が可能となった。